

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年4月25日(2019.4.25)

【公開番号】特開2019-37424(P2019-37424A)

【公開日】平成31年3月14日(2019.3.14)

【年通号数】公開・登録公報2019-010

【出願番号】特願2017-160872(P2017-160872)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月4日(2019.2.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、可変表示を実行するときの背景として、少なくとも第1背景と第2背景とを含み、前記第1背景では、可変表示が1回実行される毎に第1背景楽曲を先頭から出力し、前記第2背景では、複数回の可変表示に亘って第2背景楽曲を出力し、前記第2背景では、可変表示を開始するときに所定音を出力可能であり、可変表示中に前記第1背景と前記第2背景とのいずれか一方から他方に変更可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 上記目的を達成するため、本願発明に係る遊技機は、可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態(例えば大当たり遊技状態)に制御可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機1)であって、

可変表示を実行するときの背景として、少なくとも第1背景と第2背景とを含み、前記第1背景では、可変表示が1回実行される毎に第1背景楽曲(例えば楽曲A)を先頭から出力し、

前記第2背景では、複数回の可変表示に亘って第2背景楽曲(例えば楽曲B)を出力し、

前記第2背景では、可変表示を開始するときに所定音を出力可能であり(例えば図25(B))、

可変表示中に前記第1背景と前記第2背景とのいずれか一方から他方に変更可能である(例えばS172の処理内で背景切替処理を実行可能である)。

このような構成によれば、複数回の可変表示に亘って楽曲を出力する状態であっても可変表示の開始タイミングが認識しやすくなり、遊技の興奮が向上する。

(1) 上記目的を達成するため、本願発明に係る他の遊技機は、

可変表示を行い、遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1）であって、

可変表示を実行するときの背景として、少なくとも第1背景と第2背景とを含み、

前記第1背景では、可変表示が1回実行される毎に第1背景楽曲（例えば楽曲A）を先頭から出力し、

前記第2背景では、複数回の可変表示に亘って第2背景楽曲（例えば楽曲B）を出力し、

前記第2背景では、可変表示を開始するときに所定音を出力可能である（例えば図25（B））ようにしてもよい。

このような構成によれば、複数回の可変表示に亘って楽曲を出力する状態であっても可変表示の開始タイミングが認識しやすくなり、遊技の興趣が向上する。